

# 高齢化を踏まえた生活交通の有り方の研究

広島工業大学大学院 学生会員 ○中村 和成  
広島工業大学 正会員 大東 延幸

## 1. 背景と目的

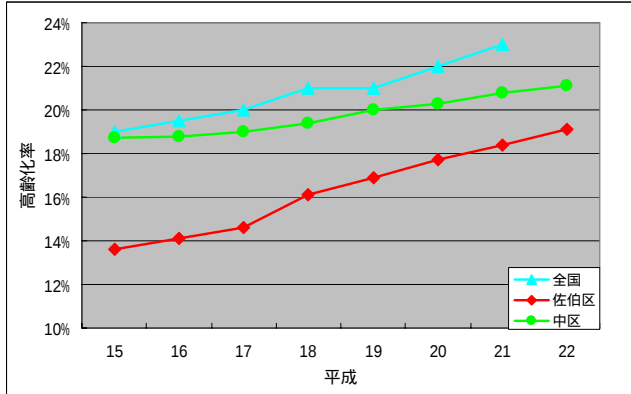


図1 佐伯区内の住宅団地の高齢化率の推移

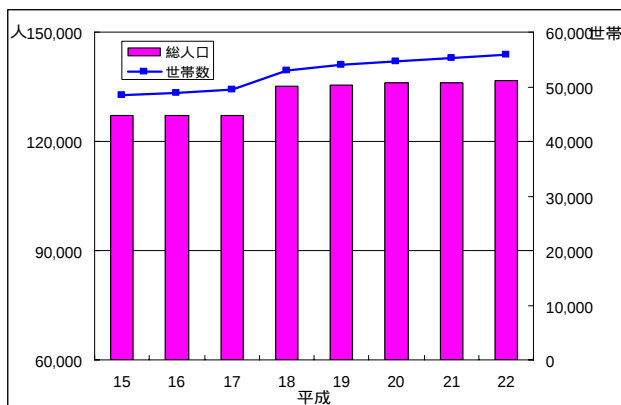


図2 佐伯区の人口・世帯数の推移

本研究で対象とした広島市の西部に位置する佐伯区では、高度成長期以降多くの住宅団地が斜面に作られた。その高齢化率は図1に示すように、広島市の中心部である中区や全国平均と比べると高齢化率は低いが近年の伸び率は高い。このような住宅団地に約5万人が住んでおり、いずれの住宅団地も分譲開始時に住宅団地を購入した特定の年齢層が多い場合が多い。

佐伯区の人口と世帯数は、図2に示すように、過去7年間では、人口はほぼ横ばいからやや減少気味であるが世帯数は微増であり、区の人口として12万人である。

これらの住宅団地の日常的な交通はマイカーに依存している割合が高いが、特定の年齢層が多いまま高齢

化が進んだ場合、現状の交通のあり方が続けられるとは限らず、現状では住宅団地の公共交通網は貧弱であるが、地域の活性化と維持のためにも、まずはバスによるサービスを念頭に置き、現状の公共交通空白地帯に交通サービスの計画を行うことを検討したい。

## 2. 対象地域の住宅団地における高齢化の現状と将来

佐伯区の住宅団地が特定の年齢層が多いまま高齢化の進展した場合にどの程度の高齢化率になるかを過去5年間の人口増減のトレンドから5年後と10年後の予測を行ったものが図3である。これらの住宅団地の中には、町丁目単位での平均年齢が現在50歳を超えている所もあり、不動産としての価値も下がり<sup>1)</sup>つつある。住宅団地の維持と住宅団地の住民の買い物などの日常生活につながるの深い既成市街地の維持のためにも、図3で取り上げた住宅団地と、主要な商業施設や病院等を結ぶ交通サービスの整備が必要であると考え。

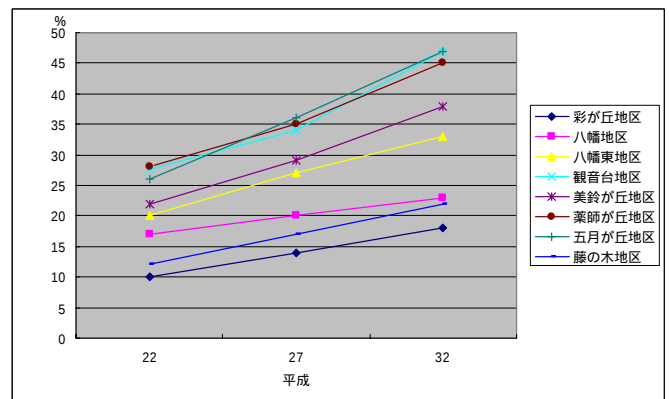


図3 住宅団地別高齢化率の予想

## 3. 交通に関する意識や行動の年齢層による違い

当方でおこなった過去の調査研究<sup>1)</sup>より、高齢化と交通に関する意識や行動の関係を分析した。ここでは美鈴が丘住宅団地の事例を示す。

図4に現在の住宅団地内の交通に対する満足度を示す。どの年齢層も満足は10%にも満たず、他の答えも年齢層の違いによる明確な傾向は見られなかった。

キーワード：住宅地・高齢化・交通弱者

連絡先：広島工業大学（〒731-5193 広島市佐伯区三宅 2-1-1 電話 082-921-3121 FAX 082-921-8934）

図 5 に自分が高齢になったときの交通への意識を示す。若い世代は将来自分で運転し続けようという考えを持っている方が少なく公共交通を使おうと考えているが、50代から自家用車も公共交通も使わないと答えられた方が増えて60歳代になると交通そのものをするものが少なくなり70歳代ではそれがさらに顕著になる。

図 6 に、買い物時の乗り物の不満な点を示す。70歳代になるとバスとタクシーの料金の高さに対する不満

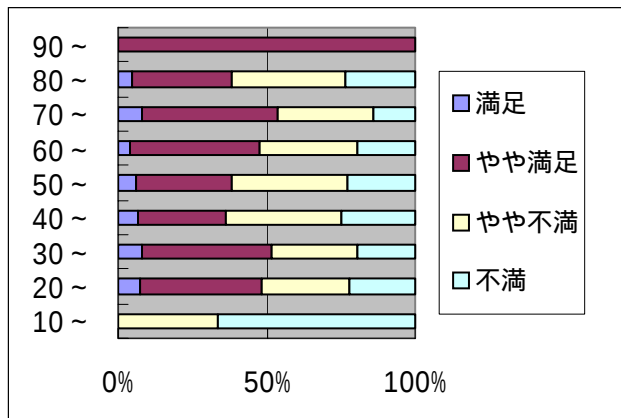


図 4 住宅団地内の交通全般に対して年代別満足度

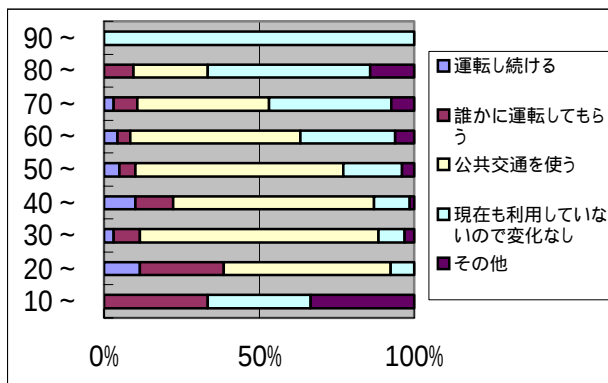


図 5 高齢になったときの交通への年代別の意識

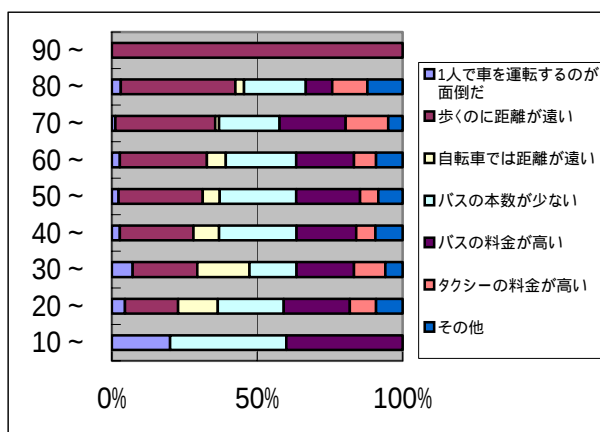


図 6 買い物時の乗り物の不満な点

が増える傾向が明らかとなった。

他の項目の年齢別の分析からも、高齢になると自分で運転することは減るが、一方で公共交通（ここではバス）の利用も減っており、他人の運転するマイカーの利用や外出そのものが減る傾向になる。これらの結果からも交通サービスの充実が求められる。

#### 4. 高齢化率の高い住宅団地への新たなバスルート

これまで調査を行った住宅団地のなかで、前章で取り上げたような傾向が起きていると考えられる住宅団地とそこに隣接する既成市街地との間を結ぶバスルート案の検討を行ない太線で示したものを図 7 に示す。



図 7 検討したバスルート案

#### 5. まとめと今後の課題

今回の年齢別の交通行動や意識の分析の傾向から高齢になるにつれて外出の頻度が減るなどの活動の低下の可能性が見られ、公共交通のサービスレベルの違いによる分析が必要であると考えます。また当方の調査研究<sup>1)</sup>で、住宅団地の住民の意向は新たなバスサービスを導入する意向が高いことを確認している。現在関係団体や自治会等とその導入に当たって、どのような方法が可能か協議を始めているところである。

##### 【参考文献】

- 1) 中村・大東(2011)高齢化の進展を考慮した生活交通の有り方の研究、第 64 回 土木学会中国支部研究発表会・講演集